

◇熊谷隆一君

○議長（高橋 猛君） 次に、11番、熊谷隆一君の一般質問を許可いたします。熊谷隆一君、登壇願います。

（11番 熊谷隆一君 登壇）

○11番（熊谷隆一君） 一般質問をいたします。

今回の質問は、通告しておりますとおり、町長と教育長に対しましての質問であります。

最初に、イベントの招致についての質問であります。美郷町が誕生して間もない平成19年に開催されました秋田わか杉国体は、町も自転車競技、バドミントン競技の会場となり、合併前の旧町村時代から準備を進めてきた町当局はもとより、全国から参加された出場選手、民泊受け入れやボランティアとして大会運営に協力した多くの町民のそれぞれの努力が結集して、大変な盛り上がりを見せたすばらしい国民体育大会であったと記憶しております。

また、ことしの10月には、第29回国民文化祭・あきた2014が開催されることになっており、美郷町でも10月12、13日にアクアJAZZフェスティバル in MISATOの開催が決定しており、予算も今の議会で審議されておりますし、実行委員会が中心となって、関係者の人たちは既に入念な準備をしていることだと思っております。フェスティバルの大成功を期待するところであります。

そこで質問ですが、今後招致してみたいビッグイベントがあるのかについてであります。

1つ目として、種苗交換会です。昨年10月末から1週間、仙北市で開催された第136回種苗交換会は、天候にも恵まれ、86万人の人が訪れたという大変なにぎわいを見せた交換会でありました。地元仙北市民の満足感や秋田県の農業者が持っているポテンシャルを遺憾なく発揮する場になっておりました。農業の町美郷町としては、その招致についてどのようにお考えなのかについて伺います。

2つ目のイベントとして、長い歴史と日曜昼という放送時間もありまして、国民的番組となっているNHKのど自慢ですが、全国各地から放送されております。番組の初めには、開催地域の特徴的な風景だとか特産品などの紹介コーナーもあります。NHK側の開催地選定の条件等については、私はわかりませんが、美郷町での開催についてお伺いします。

3つ目といたしましては、スポーツ大会を含むその他のビッグイベントの招致についてどのようにお考えなのか、以上についてお伺いします。

次に、美郷町の教育行政について、教育長にお伺いします。教育長におかれましては、この3月末をもちまして職を辞したいと表明されております。現職の中学校の校長からの任期半ばでの

教育長就任で、戸惑いもあったと思いますが、学校統合を順調に進めるなど、これまでの教育長の仕事の成果はすばらしいものがあると、私は感じております。まだまだ余力を残しての退任表明だとお見受けしますが、これまで取り組んできた思いと今後の美郷町の教育についての課題や展望等、所感をお伺いしたいと思います。

○議長（高橋 猛君） 答弁を求めます。初めに、町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） ただいまのご質問にお答えいたします。

イベントの招致についてですが、議員がご質問で触れられましたとおり、平成19年の秋田わか杉国体は、関係町民各位が民泊を含めておもてなしの心で選手団をお迎えし、成功裏に終えましたことは、記憶に新しいところです。また、ことし10月に行われます第29回国民文化祭においては、当町は、アクアJAZZフェスティバル in MISATOを開催いたしますが、実行委員会を中心に準備を重ねておりまして、2日間にわたるビッグイベントとして多くの皆様をお迎えしたいと考えております。ぜひとも町民各位には、積極的にご参加いただき、国体同様記憶に残るイベントになるようご協力とご支援をお願い申し上げます。

さて、ご質問の今後のイベント招致についてですが、議員が事例としてご紹介いただきました種苗交換会に関しましては、先ほど議員が触れられましたとおり、今年度は近接の仙北市で開催されました。参加者も多く、経済効果も大きかったと伺っております。しかし、種苗交換会の各種協賛行事及び主要行事は、1,000人を超える人数を収容できる施設で行われてきており、それに応じた駐車スペースも必要など、開催の前提条件があるようです。まことに残念ながら、美郷町においてはそうした収容人数の集会施設がなく、開催には無理があるように思うところです。

また、NHKのど自慢大会に関しましては、ステージや照明、音響設備に関しまして、主催者側が求める規模と水準を準備することが前提条件となるようでして、当該設備を手がけた専門業者でなければ設営が難しい旨、既に開催した自治体から伺っておりまして、経費面について慎重な検討が必要なようです。

このため、残念ながら現時点では、議員ご紹介のイベントを直ちに招致できる環境あるいは計画にありませんが、多くの方が集うイベントの必要性自体は、交流人口の拡大の観点でも大変に意義あるものと認識しております。そのため、今後も活気あふれる美郷町を目指し、町の有する施設等で開催可能な大きなイベントの招致については、意識を持って情報収集に努めてまいりたいと存じます。

また、美郷町においては、国体バドミントン会場となりましたリリオスを初め、仙南小学校体

育館を含めると体育館4つが徒歩圏内に存在しておりまして、かつこのたび宿泊交流施設も整備の予定となっております。このことは、体育イベントを開催する観点では、かなりアドバンテージがあるものと存じますので、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック競技大会においては、バドミントン競技の海外選手団の練習会場などに活用してもらおうよう、今後、県の意向調査などの際に積極的にアピールすることで、大きなイベント招致に向かってまいりたいというふうに考えております。以上です。

○議長（高橋 猛君） 次に、教育長、登壇願います。

（教育長 後松順之助君 登壇）

○教育長（後松順之助君） 引き続きご質問にお答えいたします。

初めにご質問の、これまでの思いを美郷町の教育行政の姿勢、すなわち目指してきたことという観点からお答えいたしたいと思っております。

町の教育は、町の総合計画により推進してまいりました。したがって、美郷町の教育理念の根幹は、これまで町が一貫して取り組んできてまいりました「教育は人づくり」にあります。その具現のために、目指すべきことを「家庭」「学校」「地域」を包含する教育指針に盛り込み、目指す方向を提示いたしましたところであります。その中で、親には行動力を、教師には指導力を、そして、地域には子供育成力の必要性を説いてまいりました。すなわち、この3者が総合的に働く美郷町教育を目指してきたところであります。

次に、今後の美郷町の教育についてですが、今後の課題という観点からお答えいたします。

まずは、学校の本分であります学力の定着です。幼、小、中の学習を通して身につけた学力が、高等学校等の上級学校での学びを保障し、子供たちの将来の選択幅の拡大につながると思うからであります。

いま一つは、美郷町ならではの教育の一層の推進です。水環境教育に代表されるここならではの教育の推進を通して、美郷町民としての誇りを持ち、いつでも、どこでも、自分に自信を持ち生き抜く人材の育成に、行政のみならず町ぐるみで取り組む必要があります。

最後は、家庭教育の充実です。子供たちにとってしつけは、集団で、あるいは社会で生きるために身につけていかなければならない、企業で言うならば制服にも匹敵する大切なものであることは、いまさら言うまでもないことです。いわばしつけ、とりわけ家庭のしつけは、その家庭の制服、看板であることを認識し、各家庭が積極的に社会性を身につけさせる意識を醸成していきたいものと感じているところであります。

先ほど、自分に自信を持って生き抜く人材の育成は、行政のみならず町ぐるみで取り組む必要

があると申しあげましたが、町は今、町長の卓越したリーダーシップのもと、他自治体、企業と積極的に交流を図っています。交流を通して外に打って出るためには、内を固めることが肝心であることは言うまでもありません。教育において内を固めるとは、自分の力をつけることにほかなりませんが、美郷町の子供たちにとって今最も必要な力は、少しのことは我慢する力、不平不満を口にする前に工夫する力と感じています。この力こそ、大人も子供も町を挙げて培うべき力と思われまます。

口幅ったいことを申しあげましたが、これまでの教育行政に対しまして、美郷町議会には多大なるご支援、ご理解を賜りましたことに対し心より感謝の意を申し添えまして答弁といたします。ありがとうございました。

○議長（高橋 猛君） 再質問ありますか。（「ありません。一言」の声あり）

○11番（熊谷隆一君） 答弁ありがとうございました。

○議長（高橋 猛君） これで、11番、熊谷隆一君の一般質問を終わります。